

# 第1回目 川根高校魅力化(川根留学制度)の立ち上げ経緯

町教育委員会では、平成26年度から川根留学制度を始め、平成28年度から本格的に川根高校魅力化事業を開始しました。なぜ、川根高校魅力化事業が必要になったのか、その経緯を説明します。

## 【そもそも川根高校はどんな学校？】

川根高校は、川根本町徳山地区にある静岡県立の普通科の高校です。昭和38年に静岡県立藤枝東高校の川根分校として開校し、昭和41年に静岡県立川根高校として独立しました。全校生徒数は、139名（平成31年4月現在）、本川根中、中川根中、川根中からの入学者は71名、川留学生は68名です。



(静岡県立川根高等学校)

## 【なぜ、川根高校魅力化事業(川根留学制度)が始まったのか】

まず初めに、川根留学制度と川根高校魅力化事業とは何かを説明します。

### 川根留学制度とは、、、

中川根中学校、本川根中学校（ともに川根本町立）、川根中学校（島田市立）以外の中学校から川根高校へ入学することを言います。川根高校では、平成30年度から県外からの生徒募集をしています。

### 川根高校魅力化事業とは、、、

文字通り、「川根高校」の「魅力」を「作る」事業です。具体的には、寄宿舍（寮）の運営、川根本町公営塾の運営、川根高校における地生学（夢ぷろ）などの事業です。（詳細は、第2回目（令和2年1月更新予定）で紹介します。）川根高校と同じように全国から生徒を募集している高校が多くあります。静岡県内外から川根高校を選び、入学してもらえるように川根本町の地域性などを生かした事業に取り組んでいます。

それでは、本題に入ります。なぜ、この事業が始まったのか??一言で言うと、「川根高校の存続のため」です。

川根本町の人口減少に伴って、川根高校の入学者数・在校生数も減少しています。このまま生徒数が減少していくと、川根高校は分校化又は閉校の可能性があります。（実際、静岡県教育委員会より川根高校の存続可否に関する具体的な生徒数が提示されています。）川根高校がなくなると中学校を卒業した生徒は、町外の高校へ進学する必要があります。そうすると、高校生が町内にいなくなり、町内の活気がなくなります。場合によっては、家族で高校がある市町へ移住する場合も考えられ、川根本町の人口減少が更に進みます。その他にも、商工業や地域行事など様々な面への影響が考えられます。このような問題を生じさせないために、「川根高校の存続」が非常に重要になります。

では、川根高校を存続させるために何が必要か?それは、「生徒の確保」です。生徒確保のため、町内の生徒だけでなく、町外からも多くの生徒が進学してもらえるように川



(若者交流センター奥流)



(川根高校男子寮よすが苑)

根留学制度」を開始しました。そして、町外から進学する生徒のために、寄宿舎（寮）（町内には、「若者交流センター奥流（おうる）」・南麓寮・川根高校男子寮よすが苑の3施設）の設置・運営、教育格差解消のため「川根本町公営塾」の開設、町内外の生徒から選ばれる高校になるため、川根本町の地域性を生かし、他校との差別化を目指す川根高校での「地生学（夢ぷろ）」などの「川根高校魅力化事業」が本格的に開始されました。

### 【なぜ、町が川根高校を支援するの??】

川根高校がなくなると、町にどんな影響が出るのかは、前述した通りです。川根高校が存続しなければ、このような影響が出てしまいます。でも、川根留学生在がこの町に来ることで、良い刺激になります。川根留学生は、積極的な生徒や将来の目標を持って進学してくる生徒が多いです。地元の生徒からは、川根留学生在が入学することで、「クラスが明るくなり、新しい風が入った!」という声が聞かれます。また、地域の方々からも「人通りが少なかったけど、川根留学生在が来て元気な声が聞こえ、活気が出てきた。」という声もあります。町は、川根高校支援という形で川根本町を元気にしたい、そして川根高校を存続させたいという思いで川根高校を支援しています。

町には、長期的な思いもあります。川根留学生在が川根高校に入学し、3年間、川根本町で生活し、この町の良さに気づき、彼らにとって川根本町が「第2のふるさと」となってほしいと願っています。川根高校卒業後は、それぞれの目標に向かってこの町を出ていきますが、いずれこの町のことを思い出し、戻って来てほしいと思います。そして、その中から、川根本町に移住・定住する生徒が出てくることを願っています。

### 【10月・11月の主な活動】

#### ① 10月19日(土)県外生徒募集説明会を実施しました。

静岡駅前会議室を会場に「県外生徒募集説明会」を実施しました。当日は、静岡県内から5組、県外から4組（神奈川県2組、愛知県1組、兵庫県1組）の参加がありました。

#### ② 11月3日(土)川根本町産業文化祭に川根留学生在がスタッフとして参加しました。

川根留学生徒5名が産業文化祭にスタッフとして参加しました。当日は、ステージイベントの補助を務め、町民の方などと触れ合いました。初めての参加でしたが、生徒からも好評で今後も、継続していきたいと思っています。



(産業文化祭で作業する留學生)

#### ③ 11月9日(土)川根高校でオープンスクールが開催されました。

川根高校でオープンスクールが開催されました。当日は、授業見学、部活動見学、寄宿舎（寮）の見学を行いました。また、希望者には個別面談も実施しました。参加者は、静岡県内が中心でしたが、東京都や神奈川県からの参加もありました。12月7日（土）にも静岡市内で説明会を開催予定です。12月の説明会が今年度最後の説明となります。しっかりと川根高校をPRしたいと思います。



(川根高校オープンスクールの様子)

第2回目は、「川根高校魅力化事業」を紹介予定です。  
令和2年1月更新予定です。

【作成】

川根本町教育委員会教育総務課

TEL:0547-58-2555

FAX:0547-59-4025